



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 北越メタル株式会社

コード番号 5446 URL <http://www.hokume.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 住田 規

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務本部長

(氏名) 米山 克巳

TEL 0258-24-5111

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	10,766	11.3	30	—	35	—	△2	—
23年3月期第2四半期	9,673	△6.0	△259	—	△255	—	△324	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △60百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △329百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△0.14	—
23年3月期第2四半期	△16.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第2四半期	24,317	—	13,590	—	55.4
23年3月期	23,573	—	13,682	—	57.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 13,459百万円 23年3月期 13,554百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	1.50	1.50
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成24年3月期の配当予想につきましては、先行きが極めて不透明なため、現段階では未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,610	12.5	440	—	430	—	240	—	12.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

※「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当します。

詳細は、四半期決算短信【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	19,970,000 株	23年3月期	19,970,000 株
24年3月期2Q	56,968 株	23年3月期	55,866 株
24年3月期2Q	19,913,854 株	23年3月期2Q	19,917,404 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

なお、平成24年3月期の配当予想につきましては、経営環境の先行きの見極めが大変難しいことから、現時点では未定とし、今後の業績動向を勘案し、改めて公表させていただきます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により落ち込んだ生産活動に持ち直しの動きが見られたものの、原発事故に伴う電力供給や円高・株安の進行などを背景に依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループの関連業界におきましても、主原料である鉄スクラップ価格が高止まりするなか、製品販売価格の改善や製品販売数量の確保に鋭意努力してきました。

当社といたしましては、このような状況下、改善活動「ACE1500」を主体に全社一丸となって取り組みました。

販売面では、主力の異形棒鋼などは鋼材需要が伸び悩むなかで、価格重視の販売と販売数量の確保に努めてきました。

また、コスト面では、安定操業を最優先として、諸原単位の改善を図り、コスト低減と品質向上に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は10,766百万円（前年同四半期比11.3%増）、経常利益は35百万円（前年同四半期255百万円の経常損失）、四半期純損失は2百万円（前年同四半期324百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ744百万円増加して、24,317百万円となりました。

これは主に、減価償却費の計上による有形固定資産の減少（前連結会計年度末比267百万円の減少）及び保有有価証券の株価の下落に伴う投資有価証券の減少（前連結会計年度末比101百万円の減少）により、固定資産が前連結会計年度末に比べ335百万円減少して9,227百万円になったものの、受取手形及び売掛金の増加（前連結会計年度末比954百万円の増加）により、流動資産が前連結会計年度末に比べ1,079百万円増加して、15,090百万円になったことによるものであります。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ836百万円増加して、10,726百万円となりました。

これは主に、長期借入金の増加（前連結会計年度末比569百万円の増加）等により、固定負債が前連結会計年度末に比べ649百万円増加して2,283百万円になったことによるものであります。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ92百万円減少して、13,590百万円となりました。

これは主に、利益剰余金の減少（前連結会計年度末比32百万円の減少）によるものであります。

また、自己資本比率につきましては、前連結会計年度末の57.5%から2.1ポイント減少して、当第2四半期連結会計期間末には55.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、前回予想（平成23年8月1日）から修正しております。

詳細につきましては、本日開示しております「第2四半期累計期間業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、平成24年3月期の配当予想につきましては、経営環境の先行きの見極めが大変難しいことから、現時点では未定とし、今後の業績動向を勘案し、改めて公表させていただきます。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社の三条工場において、建物を除く有形固定資産の減価償却方法は、従来、定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、三条工場の製造製品について今後の需要予測を行った結果、長期的に安定した需要が予想され、製造設備の安定的な使用が見込まれることから、主要設備について経済的便益の消費パターンを考慮した上で、合理的な減価償却方法を採用すべく検討した結果、製造製品のライフサイクルが長く、主要設備の陳腐化のリスクが低いことや、近年では修繕費等の設備維持コストが每期概ね定額的に発生していることから、今後の設備投資効果は長期にわたり平均して発現すると見込まれるため、期間損益をより適正に行うためのものであります。

この変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ9,473千円増加しております。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,995,700	4,565,308
受取手形及び売掛金	6,132,660	7,086,831
商品及び製品	1,817,491	1,829,669
仕掛品	72,164	66,578
原材料及び貯蔵品	1,468,396	1,338,471
繰延税金資産	195,499	195,600
その他	367,605	48,386
貸倒引当金	△38,462	△40,443
流動資産合計	14,011,056	15,090,404
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,130,763	8,148,239
減価償却累計額	△4,893,282	△4,989,381
建物及び構築物(純額)	3,237,480	3,158,857
機械装置及び運搬具	18,996,212	19,102,824
減価償却累計額	△16,157,444	△16,399,665
機械装置及び運搬具(純額)	2,838,767	2,703,159
工具、器具及び備品	1,850,178	1,843,030
減価償却累計額	△1,574,977	△1,584,290
工具、器具及び備品(純額)	275,200	258,739
土地	1,805,240	1,797,188
リース資産	55,231	55,231
減価償却累計額	△6,862	△11,434
リース資産(純額)	48,369	43,796
建設仮勘定	28,030	3,789
有形固定資産合計	8,233,088	7,965,531
無形固定資産		
ソフトウェア	12,363	12,647
その他	3,628	3,707
無形固定資産合計	15,992	16,354
投資その他の資産		
投資有価証券	850,891	749,326
繰延税金資産	386,051	425,600
その他	91,224	85,030
貸倒引当金	△15,210	△14,810
投資その他の資産合計	1,312,957	1,245,146
固定資産合計	9,562,038	9,227,032
資産合計	23,573,094	24,317,436

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,511,653	5,509,165
短期借入金	2,146,737	2,316,108
未払法人税等	27,653	52,184
その他	570,878	566,065
流動負債合計	8,256,922	8,443,523
固定負債		
社債	—	150,000
長期借入金	817,167	1,386,986
退職給付引当金	575,901	586,292
役員退職慰労引当金	133,478	131,721
資産除去債務	6,324	6,361
その他	100,533	21,945
固定負債合計	1,633,404	2,283,306
負債合計	9,890,327	10,726,829
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,969,269	1,969,269
資本剰余金	1,399,606	1,399,606
利益剰余金	10,145,832	10,113,232
自己株式	△15,231	△15,396
株主資本合計	13,499,478	13,466,713
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55,411	△6,896
その他の包括利益累計額合計	55,411	△6,896
少数株主持分	127,878	130,789
純資産合計	13,682,767	13,590,606
負債純資産合計	23,573,094	24,317,436

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	9,673,686	10,766,229
売上原価	8,792,885	9,514,188
売上総利益	880,801	1,252,040
販売費及び一般管理費	1,140,506	1,221,643
営業利益又は営業損失(△)	△259,704	30,397
営業外収益		
受取利息	712	316
受取配当金	16,683	17,138
受取賃貸料	899	899
助成金収入	10,356	3,554
貸倒引当金戻入額	—	399
還付加算金	1,697	9,138
その他	5,630	5,045
営業外収益合計	35,979	36,492
営業外費用		
支払利息	27,446	24,716
手形売却損	591	679
その他	3,348	6,346
営業外費用合計	31,386	31,742
経常利益又は経常損失(△)	△255,111	35,147
特別利益		
固定資産売却益	250	1,128
負ののれん発生益	4,631	—
貸倒引当金戻入額	1,680	—
保険解約返戻金	3,761	—
受取保険金	—	24,236
特別利益合計	10,324	25,364
特別損失		
固定資産売却損	11	1,634
減損損失	8,402	8,051
固定資産除却損	5,173	2,728
投資有価証券評価損	152,153	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,636	—
特別損失合計	170,376	12,414
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△415,164	48,097
法人税等	△77,238	46,114
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△337,925	1,982
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△13,758	4,711
四半期純損失(△)	△324,166	△2,728

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△337,925	1,982
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,039	△62,307
その他の包括利益合計	8,039	△62,307
四半期包括利益	△329,885	△60,324
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△316,126	△65,036
少数株主に係る四半期包括利益	△13,758	4,711

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。